

一般社団法人 日本機械学会北海道支部
第63期(2022年度)総会

開催日 2023年3月10日(金)14:15～15:45

会場 オンライン開催

議案1. 第63期(2022年度)事業報告

議案2. 第63期(2022年度)収支決算報告

議案3. 第64期(2023年度)支部長・副支部長・幹事

および監事の選出

議案4. 第64期(2023年度)事業計画案審議

議案5. 第64期(2023年度)事業予算案審議

～新旧支部長より挨拶～

贈賞1. 日本機械学会北海道支部賞

贈賞2. 学生員増強功労者

贈賞3. 日本機械学会若手優秀講演フェロー賞

議案資料

～目次～

1. 第63期(2022年度)事業報告	
1-1 支部役員・商議員名簿	3
1-2 事業報告	4～6
1-3 学生会事業報告書	7
1-4 会員拡充事業報告書	8～10
1-5 シニア会事業報告	11～13
2. 第63期(2022年度)収支決算報告	
2-1 収支決算書・貸借対照表	15～16
2-2 監査報告書	17
3. 第64期(2023年度)支部長・副支部長・幹事および監事の選出結果	
3-1 第64期代表会員ならびに支部商議員当選者名簿	19
3-2 支部役員名簿	20
4. 第64期(2023年度)事業計画案審議	
4-1 支部事業計画概案	22
4-2 学生会事業計画案	23
4-3 会員拡充事業計画案	24
4-4 シニア会事業計画案	25
5. 第64期(2023年度)事業予算案審議	
収支予算案	27
6. 日本機械学会北海道支部賞	
北海道支部賞の概要と今年度受賞者	29～30
7. 学生員増強功労者	
学生員増強功労者表彰に関する運営内規と今年度学生員増強功労者	32～33
8. 若手優秀講演フェロー賞	
日本機械学会若手優秀講演フェロー賞に関する規定と今年度受賞者	35～36

議案1.

第 63 期(2022 年度)

事業報告

北海道支部 第63期 支部役員・商議員名簿 (敬称略)

【幹事】 11名

支部長	林田 和宏	北見工業大学
副支部長	松永 吉弘	北海道ガス(株)
庶務幹事	佐藤 太裕	北海道大学
会計幹事	植村 豪	北海道大学
会員拡充担当幹事	森川 一	旭川工業高等専門学校
学生会担当幹事	平元 理峰	北海道科学大学
支部講演会担当幹事	成田 幸仁	室蘭工業大学
シニア会担当幹事	須田 孝徳	苫小牧工業高等専門学校
拠点幹事	河野 義樹	北見工業大学
拠点幹事	川村 淳浩	釧路工業高等専門学校
拠点幹事	剣地 利昭	函館工業高等専門学校

【監事】 2名

会計監査担当	大竹 秀雄	北海道科学大学
会計監査担当	富樫 憲一	(地独) 北海道立総合研究機構

【商議員】 6名

荒島 裕信	日本製鋼所 M&E (株) [代表会員兼務]
長船 康裕	室蘭工業大学
齊藤 雄	日本製鉄(株)
佐々木 勇斗	北海道電力(株)
長谷川 邦彦	北海道ガス(株)
ラワンカル アビジート	北見工業大学

【代表会員】 7名

荒島 裕信	日本製鋼所 M&E (株)
今井 良二	室蘭工業大学
北川 浩史	北海道科学大学
小矢畑 亘	日本製鉄(株)
佐々木 克彦	北海道大学 [部門選出]
白井 直樹	北海道ガス(株)
森田 慎一	北見工業大学

※【本部理事(広報情報理事)】

村井 祐一	北海道大学
-------	-------

北海道支部第63期(2022年度)支部事業報告

2022.3.1～2023.2.28

学生会・シニア会を除く

【総会, 幹事会, 商議員会】

開催日	内 容	会 場	参加人数
2022/3/9	【第62期支部総会】 第62期事業・収支決算報告, 第62期役員の互選, 第63期事業計画および予算案の承認, 各賞授賞式	オンライン開催	48名 委任状6通
2022/3/9	【第62期第19回幹事会】 第62期事業・会計報告, 第63期事業計画・予算案審議, 総会準備等	オンライン開催	10名
2022/3/11	【第63期第1回幹事会】 若手優秀講演フェロー賞ならびに支部優秀講演賞受賞者の確認	メール審議	11名
2022/5/13	【第63期第2回幹事会】 懇話会設置申請について審議	メール審議	11名
2022/5/27	【第63期第3回幹事会】 「機械の日・機械週間」事業協賛・後援申請について審議	メール審議	11名
2022/6/15	【第63期第4回幹事会】 第63期支部総会・合同講演会その他今期事業について次年度代表会員・商議員選出案などの審議	北海道大学	10名
2022/6/21	【第63期第5回幹事会】 「機械の日・機械週間」事業協賛申請について審議	メール審議	11名
2022/7/1	【第63期第6回幹事会】 特別講演会申請について審議	メール審議	11名
2022/7/12	【第63期第7回幹事会】 特別講演会申請について審議	メール審議	11名
2022/8/2	【第63期第8回幹事会】 「機械の日・機械週間」事業協賛申請について審議	メール審議	11名
2022/8/26	【第63期第9回幹事会】 懇話会設置申請について審議	メール審議	11名
2022/9/6	【第63期第10回幹事会】 第63期事業報告, 学生会事業報告, 会員拡充事業について報告と審議, 支部フェロー推薦審議, 次年度支部事業計画等について審議	北海道大学	8名
2022/9/16	【第63期第11回幹事会】 学生会運営委員長に対する表彰制度に関する審議	メール審議	11名
2022/10/4	【第63期第12回幹事会】 特別講演会申請について審議	メール審議	11名
2022/11/4	【第63期第13回幹事会】 協賛事業申請について審議	メール審議	11名
2022/12/23	【第63期第14回幹事会】 次年度協賛事業申請について審議	メール審議	11名
2023/1/6	【第63期第15回幹事会】 共催事業申請について審議	メール審議	11名
2023/2/7	【第63期第16回幹事会】 支部賞受賞者について審議	メール審議	11名
2022/3/9	【第62期第2回商議員会】 【第63期第1回商議員会】 第62期事業・会計報告, 第63期事業・会計計画案他について審議	オンライン開催	24名

【支部講演会・特別講演会】

開催日	内 容	会 場	参加人数
2022/3/5	【第59回支部講演会】 講演件数:33件	オンライン開催	37名
2022/3/5	【第62期支部総会 付帯特別講演会】 「宇宙産業の展望と民間ロケット開発の取り組み」 インターステラテクノロジズ株式会社 代表取締役社長 稲川 貴大 氏	オンライン開催	38名
2022/7/19	【特別講演会】 「Use microdroplet preparing localized nanostructured silicon surface for Surface-Enhanced Raman Scattering (SERS) analysis」 Prof. Chia-Wen Tsao	北海道大学	20名

2022/7/21	<p>【特別講演会】 「Finite element analysis on clinical treatment methods for sacroiliac joint dysfunction」 Ryota Toyohara (Division of Human Mechanical Systems and Design, Hokkaido University, Japan)</p> <p>「Detection of filopodia to identify leader cells in migration by image analysis」 Baasansuren Otgon (Division of Human Mechanical Systems and Design, Hokkaido University, Japan)</p> <p>「Kinematic comparison of weightlifting techniques using IMU sensors」 Prof. Batbayar Khuyagbaatar (Biomechanical Research Laboratory, Mongolian University of Science and Technology (MUST), Mongolia)</p> <p>「Normal range of motion of the hip, knee, and ankle joints in Mongolian people」 Prof. Danaa Ganbat (Biomechanical Research Laboratory, Mongolian University of Science and Technology (MUST), Mongolia)</p>	北海道大学	16名
2022/8/5	<p>【特別講演会】 「多孔性媒質境界による流れの制御-剪断流安定性への影響-」 （「Effects of porous boundaries on the stability of shear flows」） Dr. Harunori YOSHIKAWA (Institut de Physique de Nice)</p>	北海道大学	34名
2022/10/18	<p>【特別講演会】 「Local rheology of non-colloidal suspensions in a dense regime」 Dr. Franco TAPIA (東京大学地震研究所)</p>	北海道大学	17名

【「機械週間」関連事業、協賛・共催事業】

開催日	内 容	会 場	参加人数
2022/7/17	【「機械の日・機械週間」関連行事】 ガラス熔融成形の体験工房 - トンボ玉のサイエンスとテクノロジー -	釧路工業高等専門学校	27名
2022/7/30～31	【「機械の日・機械週間」関連行事】 WRO2022札幌予選会 エレメンタリー部門	札幌日本大学学園 中学校・高等学校	観客含め37名
2022/7/30～31	【「機械の日・機械週間」関連行事】 旭川工業高等専門学校 機械工学について	旭川工業高等専門学校	約110名
2022/8/6	【「機械の日・機械週間」関連行事】 サスティナブルエンジン ボットの技術の体験～最新研究紹介&実習授業のデモ～	室蘭工業大学	106名
2022/8/6	【「機械の日・機械週間」関連行事】 令和4年度 おもしろ科学実験 （同時開催 2022/7/22～ おもしろ科学実験オンデマンド）	北見工業大学	対面イベント 111名 オンデマンド 171名(8月末現在)
2022/8/6	【「機械の日・機械週間」関連行事】 WRO2022札幌予選会 ジュニア(中学生)部門	札幌龍谷学園高等学校	6名
2022/9/23	【「機械の日・機械週間」関連行事】 函館工業高等専門学校「メカニズムフェスティバル」	函館工業高等専門学校	来場者合わせ約230名
2022/3/6～7	【協賛】 計測自動制御学会北海道支部 第54回学術講演会	オンライン開催	40名
2022/3/7	【共催】 北海道複雑系工学研究会 第21回複雑系マイクロシンポジウム	オンライン開催	31名
2022/3/8	【協賛】 HASTIC 第19回HASTIC学術講演会	オンライン開催	50名
2022/3/17	【協賛】 空気調和・衛生工学会北海道支部 第56回学術講演会	オンライン開催	58名
2022/5/28	【協賛】 2022年度科学と技術に関する公開講座 生産基盤の設備のはなし～産業と文化から社会貢献へ～	オンライン開催	11名

2022/7/19	〔協賛〕 日本材料学会北海道支部 学術講演会 「SDGs達成に向けた構造材料開発～旭川地区研究者の最近の取り組み」	旭川市大雪クリスタルホール国際会議場	7名
2022/11/11	〔協賛〕 日本材料工学会北海道支部 学術講演会	オンライン開催	30名
2022/12/23	〔協賛〕 日本設計工学会北海道支部 研究発表講演会および特別講演会	オンライン開催	17名
2022/2/25	〔共催〕 北海道複雑系工学研究会 第22回複雑系マイクロシンポジウム	旭川市ときわ市民ホール	33名

【懇話会】

開催日	内 容	会 場	参加人数
2022/5/12	2022年度 第1回 北海道熱工学懇話会（講演会） 「500℃級三元系合金相変化マイクロカプセルの開発」 清水 友斗(北大) 「高温用潜熱蓄熱ベントの基礎伝熱特性調査」 月足 嶺(北大) 「カーボンナノチューブ分散潜熱蓄熱材の矩形蓄熱槽内自然対流融解」 玉田 凌也(北見工大) 「PEFC における MPL 細孔径分布が凝縮水排出と酸素輸送抵抗要素に及ぼす影響」 藤井 克裕(北大) 「エレクトロスプレー法による PEFC 低白金グラフェン触媒層の作製と電池高出力化」 岡野 将也(北大) 「自己熱再生の基礎理論と北海道における社会実装に向けた取り組み」 富樫 憲一(道総研エネ環地研) 「連続励起された水の分子内振動から分子間振動への緩和」 棚田 慶崇(北大) 「Al-Cu-Al クラッド材の超小型衛星に及ぼす熱効果」 戸谷 剛(北大) 「リチウム空気電池の酸素輸送を向上させる電極構造と電解液形成」 植村 豪(北大) 「底面および内部加熱粒子層のプール沸騰限界熱流束」 坂下 弘人(北大)	北海道大学とZoomなどのハイブリッド開催	50名
2022/7/19	令和4年度 第1回 バイオメカニクス懇話会 講演会 「Use microdroplet preparing localized nanostructured silicon surface for Surface-Enhanced Raman Scattering (SERS) analysis」 Prof. Chia-Wen Tsao	北海道大学	20名
2022/7/21	令和4年度 第2回 バイオメカニクス懇話会 講演会 「Finite element analysis on clinical treatment methods for sacroiliac joint dysfunction」 Ryota Toyohara (Division of Human Mechanical Systems and Design, Hokkaido University, Japan) 「Detection of filopodia to identify leader cells in migration by image analysis」 Baasansuren Otgon (Division of Human Mechanical Systems and Design, Hokkaido University, Japan) 「Kinematic comparison of weightlifting techniques using IMU sensors」 Prof. Batbayar Khuyagbaatar (Biomechanical Research Laboratory, Mongolian University of Science and Technology (MUST), Mongolia) 「Normal range of motion of the hip, knee, and ankle joints in Mongolian people」 Prof. Danaa Ganbat (Biomechanical Research Laboratory, Mongolian University of Science and Technology (MUST), Mongolia)	北海道大学	16名
2022/9/2	令和4年度 第1回 流体工学懇話会 「光学的可視化技術を使用した圧縮性流れ場の定量測定に関する研究」 梶中 和明 先生(室蘭工大) 「界面活性剤添加によるTaylor-Couette乱流の壁面摩擦変調」 堀本 康文 先生(北大)	北海道大学	18名
2022/10/4	2022年度 第2回 北海道熱工学懇話会（講演会） 「PEFC触媒層の酸素輸送抵抗要素に及ぼす I/C と白金担持量の影響」 中野 湧介(北大) 「PEFCガス拡散層表面の親水化による凝縮水排出促進」 土屋 英之(北大) 「流下液膜式熱交換器の開発」 越前 健志(苫小牧高専) 「高温空気燃焼場におけるメタン/アンモニア混焼時の火炎輝度およびOHラジカル分布に与えるアンモニア混焼割合の影響」 大黒 蒼(北大) 「プリント基板上的下方燃え拡がりに及ぼす試料幅の影響」 内垣 雄介(北大) 「電線被覆上の下方燃え拡がりに及ぼす被覆材の厚み影響」 金野 佑亮(北大)	オンライン開催	46名

北海道学生会 令和4年度(第51期) 事業報告書

学生会担当幹事	平元理峰(北海道科学大学)
委員長校	北海道科学大学(委員長:臼谷 陸, 副委員長:松長 仁)
幹事校	上半期: 北見工業大学, 旭川工業高等専門学校 下半期: 北海道大学, 函館工業高等専門学校
運営委員会	第51期 第1回運営委員会(2022年7月19日, オンライン会議) 第51期 第2回運営委員会(2022年8月3日~8月9日, メール会議) 主要議題 2022年度 事業計画 2022年度 予算案 2022年度 全道学生親睦会 2022年度 学生員卒業研究発表講演会 その他
総会	第51期 総会(2022年3月5日, オンライン zoom) 第51期 上半期総会(2022年11月19日, オンライン zoom)
会員校名	北海道大学, 室蘭工業大学, 北見工業大学, 北海道科学大学, 旭川工業高等専門学校, 釧路工業高等専門学校, 苫小牧工業高等専門学校, 函館工業高等専門学校
備考	本年度の第3回運営委員会, 下半期総会(2023年3月)ならびに2023年3月の事業は次期に繰り越す。

開催月日	行事分類	行事テーマ, 内容	会場	参加人数
2022.3.5	卒業研究発表講演会 第51回学生員卒業研究発表講演会(第51期事業)		オンライン zoom	137名
2022.7.19	運営活動	第1回運営委員会	オンライン zoom	20名
2022.8.3~9	運営活動	第2回運営委員会	各校 (メール会議)	24名
2022.5.12~7.21	会員拡充	フレッシュマンセミナーにおけるウィンドカーコンテスト	北科大	83名
2022.9	会員拡充	学内PR活動	北見工大	70名
2022.10.1	広報活動	秋のオープンキャンパスにおける体験教室(機械工学分野)	釧路高専	30名
2022.10.4	会員拡充	在学生セミナー	室蘭工大	90名
2022.10.21	会員拡充	学校祭「機械実験パート」	旭川高専	50名
2022.10.22~23	会員拡充	高専祭(機械工学分野展)での学会PR	釧路高専	70名
	会員拡充	高専祭(機械工学分野展)での学会PR	苫小牧高専	65名
2022.11.15	会員拡充	日本機械学会における技術者倫理を学ぶ	旭川高専	12名
2022.11.19	交流活動	全道学生親睦会(動画コンテスト)	オンライン zoom	25名
	運営活動	上半期総会		21名

参考：次期事業報告

2023.3.4	運営活動	2022年度第51期第3回運営委員会 (2022年度事業報告, 2023年度第52期事業計画ほか)	北科大	
	運営活動	2022年度第51期下半期総会		
	卒業研究発表講演会	第52回学生員卒業研究発表講演会 (第52期事業)		

1. 第 1 回会員部会

日時: 2022 年 7 月 28 日(木)

14:00~16:55 (ハイブリッド開催, 森川は Web 会議: Zoom 参加)

I. 議事:

1. 今期(2022 年度(第 100 期))の会員部会

- (1) 自己紹介: 部会委員名簿
- (2) 会員部会規定

2. 本会の現状について

- (1) 2021 年度(第 99 期)活動報告, 2022 度(第 100 期)運営方針

II. 報告事項:

3. 学生員委員会報告

- (1) 学生員委員会委員名簿

4. 学生交流会報告

- (1) 学生交流会の記録

5. Ladies' Association of JSME 委員会報告

- (1) LAJ 委員会委員名簿
- (2) LAJ 活動記録と活動予定

6. International Union 委員会報告

- (1) IU 委員会委員名簿
- (2) IU 活動予定

7. 各支部・部門からの報告

III. 審議事項:

8. 前期からの継続審議事項

- (1) 学生会活動へのインセンティブとしての表彰について(2022 年 1 月 27 日開催の前期第 3 回会員部会の継続審議)

支部検討事項:

学会「本部」からの学生会委員長校の運営委員長等の表彰について審議したが、結論は得られなかった。

学会本部で、表彰基準を考えて、改めて提示する。手続きとしては、支部での顕著な功績者を本部へ申請し、表彰する(表彰までに時間を要する)。各支部で、本部からの学生表彰の必要性を再度検討する。この時点では、表彰基準の提示はないが、ご意見を 10 月

末頃迄に森川宛に頂戴しました。北海道支部では、以前から委員長校の運営委員長・副委員長を「北海道支部賞学生賞」として独自に表彰しています。他支部もほぼ同様の状況ですが、これを「本部」からに変更して、学生会活動へのインセンティブを高めたいという意図です。

➡幹事会(メール会議)でのご意見を集約し、第 2 回会員部会で報告しました。

参考・経緯(2021 年度第 3 回会員部会議事録抜粋)

・昨年度学生員委員会が開催されなかったため、一昨年度に議論され部会にあげられていない案件があった。委員長校会で情報交換を行っている中で、学生会活動へのインセンティブとして、支部からではなく学会から表彰してもらいたいという意見があり、ぜひ本部からの表彰について検討いただきたい。(主な意見)

・関東支部では委員長校の委員長や幹事の表彰を行っている。

・学生会委員長校の委員長の表彰に関しては、各支部の取組を確認した上で、本部からの表彰を検討すると良い。

・学生の活動を活性化するために、表彰することは重要であるので、前向きに検討するとよい。

9. 今期重点検討課題について

・産業界と学会が対話できる仕組みづくりと実践➡産業界からの意見を聞く仕組みと実施に向けた具体的な検討➡40 歳未満の特別員企業若手会員の学会参加費等(半額程度)補助を検討する。

・多様性の推進➡JSME International Unit, Ladies' Association of JSME(LAJ)による活動の充実を図る。

IV. その他:

10. 会員部会関連規定

11. 参考資料

参考:各支部所在の特別員検索方法

<http://www2.jsme.or.jp/listCorp.php>

上記 URL で支部を指定すると、支部所属の特別員が検索できる。

北海道支部では、札幌交通機械(株)、(株)ダイナックス、(株)NICHUJO、日本製鋼所 M&E(株)、北海道ガス(株)、北海道電力(株)、北海道旅客鉄道(株)の7社です。特別員企業との連携を意識する。

2. 第2回会員部会

日時: 2022年11月17日(木)

14:00~16:55 (ハイブリッド開催, 森川は Web 会議: Zoom 参加)

I. 報告事項:

1. 前回議事録確認
2. 学生員委員会・委員長校会報告
3. Ladies' Association of JSME 委員会報告
4. International Union 委員会報告

II. 審議事項:

5. 今期重点検討課題について

(1) 取組状況

学生員委員会より、年次大会での学生交流会の開催について、他イベント(企業セミナー、ポスターセッション)との連携を検討中との報告があった。

その他に、北陸信越、関東、東海、関西、中国四国支部、材料力学、流体工学、機械力学・計測制御部門からも報告があった。

6. 前期からの継続審議事項

(1) 学生会活動へインセンティブとしての表彰について

各支部での学生会活動に関する表彰の実施状況を確認した。ついで、学生会委員長に対する表彰制度の素案・申請書(案)が本部から提示され、各支部での意見を踏まえ、その内容等について審議した。各支部での学生会活動の状況が著しく異なるため、本部での統一した規定を各支部の活動状況に適用するのは困難ではないかとの意見等が多く出された。意見が多岐に亘るため、意見集約できず、今後本部にて意見を精査・整理して、継続審議とすることで了承された。

III. その他:

7. エンジニア塾 全国展開の協力依頼

各支部のシニア会に協力を得て全国展開を進めたいという意向が本部から示された。

8. 参考資料

3. 第3回会員部会

日時: 2023年1月27日(金)

14:30~15:30 (ハイブリッド開催, 森川は Web 会議: Zoom 参加)

I. 報告事項:

1. 前回議事録確認
2. 学生員委員会報告
3. Ladies' Association of JSME 委員会報告
4. International Union 委員会報告
5. 各支部・部門からの報告

II. 審議事項:

6. 学生員増強功労表彰

(1) 2022年学生員増強功労表彰申請一覧

所属学科の記載の無い入会申込書があり、一つの大学・大学院に複数の機械系学科がある場合には、表彰対象に該当するか否かの判断や、学科・専攻の特定が困難である。この場合、該当する支部を経由して申請した大学・大学院担当者に照会する。

7. 今期重点課題について

8. 前期からの継続審議事項

(1) 学生会活動へのインセンティブとしての表彰について

第2回会員部会での審議内容を精査・集約した「学生会活動への表彰制度について(案)」が本部より示され、これに基づき審議した。その結果、本案の内容で了承された。基本的な方針は、以下の通りであり、北海道支部に関しては、従前から実施してきた学生表彰を継続する方向で良いこととなった。

・学生会委員長をはじめとした委員は、支部によって活動の程度に差はあるものの、学生会の運営に労力をかけており、その貢献を称えるべきである。

・一方こうした委員を表彰する制度は全ての支部にあるわけではないため、各支部における制度化を検討する。

・表彰の考え方: 学生会活動などに貢献した学生に対して表彰する。

・表彰は支部で実施する。すでに表彰制度のある支部はそのままとし、表彰制度のない支部に関しては、制度化を検討する。

III. 報告・確認事項:

9. 会員部会関連規定 「「会友」制度についての申合せ」変更の件

10. 事業報告書

(1) 2022 年度(第 100 期)会員部会事業報告書(案)

11. 来期(2023 年度)への引継事項確認等

・継続事項： 産業界と学会が対話できる仕組みづくり, 多様性の推進➡具体的な検討内容としては, 産業界からの意見を聞く仕組みと実施に向けた具体的な検討, LAJ 活動, IU 活動活性化の継続・充実化.

IV. その他:

12. 参考資料

4. 支部年間行事報告

前期に引き続き新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が収束せず, 対面での支部行事の開催が困難な状況が継続した. 学祭等の会員拡充行事も縮小されたり, 中止を余儀なくされたりする状況が今期にも生じた.

2023 年 5 月 8 日からは, 感染症法上の取り扱いがこれまでの 2 類相当感染症から 5 類感染症に変更され, 感染対策が緩和される見込みとなっている. これにより, 来期からは支部行事の対面開催が期待できる.

※北海道支部に関連する審議・報告事項をグレーの囲みで記載しました.

以上

2022年度 シニア会活動報告

1. 2021年度道支部シニア会のオンライン総会および交流会の開催

日時：2022年2月28日（月） 14:00～16:30

場所：オンライン上（Zoomを使用）

参加者：遠藤、城戸、疋田、岸浪、小林、長尾、後藤、佐藤巖、三浦、
石坂、近久、杉山、北海道支部事務局（宮崎） 13名

第1部 総会

議題1. 2021年度活動報告

資料1を用い、2021年度シニア会構成委員と、3地区（道央、道南、道東地区）における活動報告が行われ、了承された。

議題2. 2021年度会計報告

資料2を用い、2021年度会計報告が行われ、了承された。

議題3. 2022年度活動計画（案）

資料3を用い、2022年度活動計画（案）が説明され、了承された。

議題4. 2022年度会計予算（案）

資料4を用い、2022年度会計予算（案）が説明され、了承された。

議題5. シニア会運営委員の増員について

シニア会の活動を活発化させるため、3地区で60歳前後の運営委員を1～2名増員することが審議され、了承された。各地区で検討した結果、道南地区で運営委員1名（河合室蘭工大教授）を増員することとした。

第2部 交流会

参加者は13名（杉山、遠藤、城戸、近久、疋田、後藤、岸浪、小林、石坂、長尾、三浦、佐藤。敬称略）。

参加者全員から話題提供と質疑応答があり、交流会は有益であった。

2. 次期（2023～2024年度）シニア会運営委員長・副委員長の選出

2022年11月17日～11月22日、現シニア会運営委員15名で、次期（2023～2024年度）シニア会運営委員長の選出を選挙で行った。その結果、杉山（現シニア会運営委員長）が再選された。その後、次期シニア会副委員長として、小林、近久、長尾氏が指名され、受諾された。

3. 次期（2023～2024年度）シニア会運営委員の選出

次期（2023年3月～2025年2月）シニア会運営委員が下記のように選出された。

道央地区：小川英之、近久武美、竹澤聡、長尾信一、三浦展義 5名

道南地区：石坂淳二、小野信市、河合秀樹、後藤正芳、杉山弘、
臺丸谷政志、芳賀基 7名

道東地区：小林道明、常本秀幸 （敬称略） 2名

計14名

4. 2022年度道支部シニア会の総会および交流会の開催

日時：2023年2月28日（火） 13:30～16:00

場所：オンライン上（Zoomを使用）

- 議題1. 2022年度シニア会活動報告
- 議題2. 2022年度シニア会決算報告
- 議題3. 2023年度シニア会活動計画案
- 議題4. 2023年度シニア会予算案
- 議題5. その他

5. 各地区（道央地区、道南地区、道東地区）における活動

（1）道央地区

- （一社）北海道機械工業会との共催の体制が整わず、ものづくり基礎技術セミナーは、実施できなかった。
- 1月17日付け「エンジニア塾の検討依頼」に関し、道央地区で、メールで検討したが、実際の活動は、難しいとの結論に至った。
- 3月上旬に、新旧運営委員による会議を計画中。

（2）道南地区

○第9回「科学と技術に関する公開講座」

開催日時：2022年（令和4年）5月28日（土）13:30～15:10

開催場所：室蘭工業大学 S301 教室

およびオンライン上（Zoom ウェビナー）

演題：生産基盤の設備のはなし ～産業と文化から社会貢献へ～

講師：東野郁夫氏（道支部シニア会会員、㈱スガテック顧問）

参加者：11名

○第1回道南地区運営委員会

開催日時：2023年（令和5年）1月16日（月）10:00～11:30

開催場所：室蘭工業大学 A215 室（機械系学科談話室）

参加者：7名（石坂、小野、後藤、河合、臺丸谷、芳賀、杉山）

審議に入る前に参加者全員による挨拶と近況報告

審議事項：

1. 2023年度道支部シニア会道南地区の活動計画について

（1）高校生・小中学生に対する理工学支援（啓蒙・啓発）活動

高校生以上の一般社会人を対象とした「科学と技術に関する公開講座」を、新型コロナウイルス感染防止対策を行った上で、実施することとした。

また、Web会議の活用を検討することとした。

（2）小中学生を対象とした理科授業の支援活動

機械学会本部より検討依頼のあった「小中学生を対象とした理科授業の支援活動について」種々検討した。シニア会が中心となって実施する場合の、小中学生の要望の把握、シニア会が実施するとした場合の、支援・対応の困難さ、支援活動時間の

長さなどが、種々議論された。その結果、「小中学生を対象とした理科授業の支援活動は、道南地区シニア会では、対応・実施困難である」との結論となった。

(3) 企業見学会・交流会の開催

新型コロナウイルスの心配があり、しばらく中断していたが、感染防止対策を行った上で、企業に見学会受け入れを要望することとした。

(4) その他

2023年度、シニア会懇親会の開催を実施することとした。

2. シニア会への入会勧誘活動について

シニア会への入会条件は、機械学会会員であること、55歳以上であることから、これらのことを踏まえ、今後、約60歳以上の方々（大学および企業関係者）を対象に、入会勧誘活動を積極的に行うこととした。

(3) 道東地区

○次年度の活動内容の検討と忘年会

日時：2022年12月14日（土）18時～21時

参加者：6名（支部長、常本、小林、他3名）

検討内容：現代日本における教育問題や
科学技術に関する討論会が必要

以 上

議案2.

第 63 期(2022 年度)
收 支 決 算 報 告

北海道支部 2022年度 正味財産増減計算書

自 2022年3月1日
至 2023年2月28日

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	差引増減	当年度
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①. 支部事業収入	460,000	464,000	-4,000	
総会付帯行事収入	0	0	0	
支部講演会収入	94,000	110,000	-16,000	
協賛共催収入	10,000	10,000	0	
見学会収入	0	0	0	
特別講演会収入	0	0	0	
学生対象事業収入	356,000	344,000	12,000	
60周年事業収入	0	0	0	
技術情報誌収入	0	0	0	
その他事業収入	0	0	0	
②. 雑収入	117	100	17	
利子収入	117	100	17	
広告収入	0	0	0	
その他雑収入	0	0	0	
③. 交付金収入	3,407,000	3,169,000	238,000	
交付金収入	2,663,000	2,469,000	194,000	
学生会交付金収入	694,000	700,000	-6,000	
メカライフの世界展交付金収入	50,000	0	50,000	
60周年事業資金交付金収入	0	0	0	
④. 繰入額等	0	0	0	
機械工学振興事業資金交付金収入	0	0	0	
経常収益合計	3,867,117	3,633,100	234,017	
(2) 経常費用				
①. 事業費	1,272,061	768,100	503,961	
総会付帯行事費	20,000	22,274	-2,274	
支部講演会費	113,542	33,000	80,542	
講習会・共催協賛費	30,000	120,000	-90,000	
見学会費	0	0	0	
特別講演会費	61,397	0	61,397	
懇話会費	99,699	46,860	52,839	
メカライフの世界展費	50,000	0	50,000	
機械工学振興事業資金費	0	0	0	
支部活性化費	0	0	0	
会員増強費	0	0	0	
学生対象事業費	414,165	350,396	63,769	
表彰費(支部賞等)	209,258	86,930	122,328	
60周年事業費	0	0	0	
学生会補助	0	0	0	
市民フォーラム費	274,000	50,000	224,000	
科学研究費補助金支出	0	0	0	
シニア会・その他事業費	0	58,640	-58,640	
②. 管理費	1,034,399	990,891	43,508	
人件費	871,906	899,185	-27,279	
交通・通信費	28,913	25,855	3,058	
印刷・消耗品費	29,166	26,383	2,783	
総会費	0	0	0	
幹事会費	56,344	0	56,344	
商議員会費	0	0	0	
学生会議費	0	0	0	
シニア会・その他会議費	0	0	0	
事務所費	4,950	21,120	-16,170	
雑費	43,120	18,348	24,772	
③. 繰出額	0	0	0	
積立金繰入	0	0	0	
経常費用合計	2,306,460	1,758,991	547,469	
当期経常増減額	1,560,657	1,874,109	-313,452	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	1,560,657	1,874,109	-313,452	
一般正味財産期首残高	11,352,116	9,478,007	1,874,109	
一般正味財産期末残高	12,912,773	11,352,116	1,560,657	
II. 指定正味財産増減の部				
①. 当期指定正味財産増減額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
II. 正味財産期末残高	12,912,773	11,352,116	1,560,657	

北海道支部 2022年度 貸借対照表

2023年2月28日 現在

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	差引増減	備 考
I. 資産の部				
1. 流動資産				
現金	0	1,574	-1,574	
預金	12,913,443	11,430,928	1,482,515	
未収金	0	0	0	
前払費用	12,565	17,114	-4,549	2023年度特別講演会謝金前払い
仮払金	0	0	0	
流動資産合計	12,926,008	11,449,616	1,476,392	
2. 固定資産				
引当預金	0	0	0	
その他の固定資産合計	0	0	0	
固定資産合計	0	0	0	
資 産 合 計	12,926,008	11,449,616	1,476,392	
II. 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	10,670	0	10,670	2022年度通信費・印刷費 北海道大学へ
前受金	2,565	94,000	-91,435	謝金源泉徴収税預かり
仮受金	0	3,500	-3,500	
預り金	0	0	0	
流動負債合計	13,235	97,500	-84,265	
2. 固定負債				
引当金	0	0	0	
積立金	0	0	0	
固定負債合計	0	0	0	
負 債 合 計	13,235	97,500	-84,265	
III. 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
2. 一般正味財産 (うち特定資産への充当額)				
正味財産合計	12,912,773	11,352,116	1,560,657	
負債及び正味財産合計	12,926,008	11,449,616	1,476,392	

監査報告書

私ども会計監事は2022年3月1日から2023年2月28日までの一般社団法人日本機械学会北海道支部の第63期事業年度における会計業務について監査の結果、事業報告書記載の収支決算書及び貸借対照表は同事業年度末日現在の財産の状態を正しく示しているものと認める。

2023年3月 / 日

日本機械学会北海道支部

監事

大竹 秀雄



2023年3月 / 日

日本機械学会北海道支部

監事

宮根 憲一



議案3.

第64期(2023年度)
支部長・副支部長・幹事
および 監事の選出

第64期 代表会員・支部商議員 当選者名簿

(五十音順 敬称略)

【代表会員当選者】 10名

大橋 俊朗	北海道大学
梶原 逸朗	北海道大学 ※部門当選
河本 貴寛	北海道電力(株)
北川 浩史	北海道科学大学
齊藤 雄	日本製鉄(株)
鈴木 孝	日本製鋼所 M&E(株)
戸谷 剛	北海道大学
永田 晴紀	北海道大学 ※部門当選
水上 雅人	室蘭工業大学
渡部 正夫	北海道大学 ※部門当選

【商議員当選者】 19名

大竹 秀雄	北海道科学大学
長船 康裕	室蘭工業大学
河野 義樹	北見工業大学
川村 淳浩	釧路工業高等専門学校
河本 貴寛	北海道電力(株) ※代表会員兼務
剣地 利昭	函館工業高等専門学校
小矢畑 亘	日本製鉄(株)
佐藤 太裕	北海道大学
白井 直樹	北海道ガス(株)
杉本 剛	旭川工業高等専門学校
鈴木 孝	日本製鋼所 M&E(株) ※代表会員兼務
鈴木 逸人	(地独)北海道立総合研究機構
須田 孝徳	苫小牧工業高等専門学校
高橋 航圭	北海道大学
成田 幸仁	室蘭工業大学
平元 理峰	北海道科学大学
松田 寿	北海道科学大学
松永 吉弘	北海道ガス(株)
ラワンカル アビジート	北見工業大学

以上

北海道支部 第64期 支部役員

【幹事 10名】

支部長	松永 吉弘	北海道ガス(株)
副支部長	松田 寿	北海道科学大学
庶務幹事	佐藤 太裕	北海道大学
会計幹事	高橋 航圭	北海道大学
会員拡充担当幹事	ラワンカル アビジート	北見工業大学
学生会担当幹事	劔地 利昭	函館工業高等専門学校
支部講演会担当幹事	川村 淳浩	釧路工業高等専門学校
シニア会担当幹事	須田 孝徳	苫小牧工業高等専門学校
拠点幹事	成田 幸仁	室蘭工業大学
拠点幹事	杉本 剛	旭川工業高等専門学校

【監事 2名】 会計監査業務担当

北川 浩史	北海道科学大学
鈴木 逸人	(地独)北海道立総合研究機構

以上

議案4.

第64期(2023年度)
事業計画案

第64期 支部事業計画概要案

(学生会・シニア会・会員拡充事業を除く)

2023年3月1日～2024年2月28日

1. 第64期総会：2024年3月予定
2. 商議員会：2回～（第1回：2023年3月10日，最終回：2024年3月予定，その他必要に応じて）
3. 幹事会：必要に応じて
(メール審議を含む 第63期18回)
4. 「機械の日・機械週間」：関連事業6件程度（5月頃に予定を本部へ報告）
(機械の日：8月7日，機械週間：8月1日～7日)
5. 支部講演会：2023年3月4日（土） 北海道科学大学にて 終了
学生会卒業研究発表会との合同開催
6. 見学会：1回～
7. 特別講演会：数回（開催申請随時受付）
8. 懇話会：3件程度（設置申請受付は上半期を目処に）
9. 共催・協賛事業：10件程度の申請随時受付
10. 支部賞の公募・選考：3月授賞へ向け11月頃候補推薦募集予定
(優秀講演賞については3月4日の支部講演会にて審査済)
11. 各種学会賞推薦：適時（本部からの連絡を受けて）
12. 機械工学振興事業資金助成申請：適時（本部からの連絡を受けて）
(メカライフの世界展実施（学生会会員校2校）にかかる助成金申請もこの助成制度を利用する)
13. 若手優秀講演フェロー賞選出：3月4日支部講演会での講演発表審査済
14. フェロー候補者の推薦：例年6月頃候補者選出，9月末推薦締切

以上

北海道学生会（2023年度）第52期（2023.3～2024.2）事業計画(案)

担当幹事 劔地 利昭（函館工業高等専門学校） <kenchi@hakodate-ct.ac.jp>

委員長校 函館工業高等専門学校

運営委員会 ビデオ会議，メール審議による会議を含め必要に応じて随時開催

報告・審議事項

◇第51期（2022年度）事業ならびに収支決算報告

◇第52期（2023年度）事業計画ならびに予算の確認および審議

◇第53期（2024年度）事業計画

- ・メカライフの世界展実施校について
- ・委員長校について
- ・2024年3月卒業研究発表講演会について
- ・その他

総会 第52期上半期総会（2023年9月頃）

第52期下半期総会（2024年3月）第53期事業にカウント

行事予定 入会勧誘

各会員校随時

会員親睦会

各会員校随時

全道学生親睦会

函館工業高等専門学校

メカライフの世界展

北海道大学

旭川工業高等専門学校

第53回学生員卒業研究発表講演会

2024年3月 函館工業高等専門学校

特別講演会

全道学生親睦会において または
卒研発表会の付帯特別講演として

2023 年度(第 64 期)会員拡充事業計画(案)

第 63 期会員拡充担当幹事 森川一(旭川高専)

1. 北海道支部に所属する特別員企業(札幌交通機械(株), (株)ダイナックス, (株)NICHIGO, 日本製鋼所 M&E(株), 北海道ガス(株), 北海道電力(株), 北海道旅客鉄道(株))との連携を図る方策を検討する.
2. 企業所属の若手会員増強策を検討する.
3. 学生員向け企業見学会を実施(学生会卒研発表会との連携, 特別員企業との連携)する.
4. 学生員が卒業後も会員継続する方策の検討する.
5. 多様性の増進を図るために LAJ, IU との連携事業の検討する.
6. 北海道学生会など地方の学生会への活動運営費の配分見直しを継続要望する.

以上

2023 年度 シニア会活動計画案

(1) 企業見学会・交流会の開催 (2 回程度)

*新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、5月以降に再度検討する。

(2) 高校生・小中学生等に対する理工学支援 (啓蒙・啓発) 活動

○高校生を含む一般社会人を対象とした「科学と技術に関する公開講座」などを計画、実施する。

*北海道は面積的に広大であるので、3地区、すなわち道央地区、道南地区、道東地区で、それぞれ検討する。

*新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、5月以降に再度検討する。

(3) 日本機械学会北海道支部行事に対する協力・支援

○道支部学生員卒業研究発表会への協力・支援

○道支部講演会への協力・支援

○道支部賞 (中堅技術者貢献賞) 選考に関する協力・支援

(4) シニア会運営委員会と総会・交流会の開催

○メールまたはオンラインによる運営委員会 (メール審議, またはオンライン会議) を数回実施する。

○運営委員全員が一同に会する運営委員会、およびシニア会員全員が参加できるシニア会総会・交流会は、会場 (対面) またはオンライン上で1回程度、開催する。

以上

議案5.

第64期(2023年度)
事業予算案

北海道支部

2023年度予算案

科 目	2022年度決算	2023年度予算	2022年度予算	前年度予算と 今年度予算の 差引増減
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①. 支部事業収入	460,000	482,000	614,000	-132,000
総会付帯行事収入	0	0	0	0
支部講演会収入	94,000	172,000	90,000	82,000
協賛・共催収入	10,000	10,000	10,000	0
シニア会事業収入	0	0	0	0
学生対象事業収入	356,000	300,000	314,000	-14,000
その他事業収入	0	0	200,000	-200,000
②. 雑収入	117	100	100	0
利子収入	117	100	100	0
その他雑収入	0	0	0	0
③. 交付金収入	3,407,000	3,178,000	3,432,000	-254,000
交付金収入	2,663,000	2,394,000	2,663,000	-269,000
学生会交付金収入	694,000	654,000	694,000	-40,000
メカライフの世界展	50,000	60,000	75,000	-15,000
機械工学振興事業資金	0	70,000	0	70,000
④. 繰入額等	0	0	0	0
各種積立金等繰戻し	0	0	0	0
経常収益合計	3,867,117	3,660,100	4,046,100	-386,000
(2) 経常費用				0
①. 事業費	1,272,061	2,086,387	2,910,600	-824,213
総会付帯行事費	20,000	50,000	20,000	30,000
支部講演会費	113,542	94,000	89,100	4,900
共催・協賛費	30,000	70,000	80,000	-10,000
見学会費	0	200,000	100,000	100,000
特別講演会費	61,397	120,000	120,000	0
懇話会費	99,699	150,000	250,000	-100,000
メカライフの世界展費	50,000	60,000	75,000	-15,000
会員増強費	0	0	0	0
学生対象事業費	414,165	742,387	1,316,500	-574,113
シニア会事業費	0	130,000	250,000	-120,000
表彰費（支部賞等）	209,258	100,000	110,000	-10,000
機械工学振興事業資金	0	70,000	0	70,000
市民フォーラム費	274,000	300,000	500,000	-200,000
②. 管理費	1,034,399	2,052,000	1,934,000	118,000
人件費	871,906	1,000,000	1,000,000	0
交通・通信費	28,913	50,000	70,000	-20,000
印刷・消耗品費	29,166	40,000	70,000	-30,000
総会費	0	0	130,000	-130,000
幹事会費	56,344	90,000	90,000	0
商議員会費	0	300,000	230,000	70,000
事務所費	4,950	0	22,000	-22,000
学生会議費	0	432,000	154,000	278,000
シニア会・その他会議費	0	110,000	110,000	0
雑費	43,120	30,000	58,000	-28,000
③. 繰出額	0	0	0	0
年次大会拠出金	0	0	0	0
経常費用合計	2,306,460	4,138,387	4,844,600	-706,213
当期経常増減額	1,560,657	-478,287	-798,500	

贈賞1.

2022 年度
日本機械学会北海道支部
支 部 賞

日本機械学会北海道支部賞の概要

貢献賞

- 賞の趣旨・対象 支部の活動や発展に長年にわたって貢献があった個人・団体
および支部の事業や行事に顕著に貢献した個人・団体
- 受賞候補者資格 原則として北海道支部会員
- 受賞件数 2件程度

研究技術賞

- 賞の趣旨・対象 研究成果が地域に密着し、かつ実用化・商品化に直結する技術に繋が
り、もって機械工学および機械工業の進歩・発展に貢献した個人・団体
- 受賞件数 1件程度

学生賞

- 賞の趣旨・対象 支部の学生会の活動に貢献した個人・団体
- 受賞候補者資格 原則として支部学生会員
- 受賞件数 1件程度

中堅技術者貢献賞

- 賞の趣旨・対象 支部地域に密着した研究、技術開発を通し、成果が機械工学および機
械工業の技術開発・地域発展に貢献したと認められる、主に中小企業に
属する個人
- 受賞候補者資格 主に若手中堅技術者を対象とし、支部内中小企業会員に属する個人、及
び北海道支部会員、支部シニア会から推薦をうけた個人(受賞決定時に
概ね 45 歳以下)
- 受賞件数 1件程度

支部優秀講演賞

- 賞の趣旨・対象 支部関連講演会で発表した講演の中で特に優れた講演を行った個人
- 受賞候補者資格 学生会員を含む若手支部会員(講演時に所属が大学・研究機関で概ね
35 歳以下、企業で概ね 40 歳以下)
- 受賞件数 各講演会につき数名程度。特に上限は設けないが、あらかじめ定められ
た評価法により審査委員会にて選出する。

BPA(ベストプレゼンテーション賞、支部学生優秀発表賞)

- 賞の趣旨・対象 支部学生員卒業研究発表講演会において優秀な講演を行った学生
会員
- 受賞候補者資格 支部学生員卒業研究発表講演会で登壇し発表した学生会員
- 受賞件数 特に上限は設けないが、あらかじめ定められた評価法により BPA 審査委
員会にて選出する。

2017.2.14 一部改定

2004. 3. 5

2022年度北海道支部 支部賞受賞者

【貢献賞】

竹澤 聡 殿 元 北海道科学大学教授
岩本 隆志 殿 元 株式会社日本製鋼所および日鋼 MEC 株式会社,
日本製鋼所 M&E 株式会社

【研究技術賞】

「国際マラソン用に対応した開口型ロードコーンの耐風技術の開発」

村井 祐一 殿 (北海道大学)
田坂 裕司 殿 (北海道大学)
朴 炫 珍 殿 (北海道大学)
芦田 俊樹 殿 (ミネベアミツミ(株))
永井 繁行 殿 ((株)アシスト)

【学生賞】

臼谷 陸 殿 北海道科学大学
松長 仁 殿 北海道科学大学

【支部優秀講演賞】

「レーザー粉末床溶融結合法における輪郭パスエネルギー密度が表面粗さに及ぼす影計」
植竹 亮太 殿 (地独)北海道立総合研究機構

以上

贈賞2.

2022 年度
學生員增強功勞者

学生員増強功労者表彰に関する運営内規

2007年11月6日，2001年2月13日庶務理事会変更

1992年1月7日庶務理事会制定

〔目 的〕

第1条 学生員の増強活動を積極的に進められた方々を表彰することにより，今後の学生員の増加のみならず広く会員の増強を図り，学会活動の活性化を推進することを目的とする。

〔表彰条件〕

第2条 毎年1月から12月までに入会した学生員数が以下のいずれかの項目を満たす学科，専攻，または学校を表彰対象校とする。

1. 30名以上の学生員が入会した機械工学関連学科または機械工学関連専攻
2. 現在の入学定員の20%以上の学生員が入会した機械工学関連学科
3. 現在の入学定員の40%以上の学生員が入会した機械工学関連専攻
4. 上記を満たさない場合，複数の学科，専攻の合算により30名以上の学生員が入会した学校

なお，表彰対象校に複数の機械工学関連学科または機械工学関連専攻がある場合には，各学科あるいは専攻を表彰対象とすることができる。

〔表彰対象〕

第3条 表彰対象は第2条の条件をみたした学校，学科，専攻，または，表彰対象校に所属する個人（会員に限る）とする。

〔表彰候補の申請〕

第4条 会員部会長は毎年12月末日までに事務局で集計した学校別入会者数一覧をホームページ上に公開し，学生員の入会勧誘にご尽力いただいた学校，学科，専攻，または，個人の表彰候補者の申請を依頼する。

〔表彰対象の選定〕

第5条 会員部会は申請に基づき審議のうえ，1月末日までに表彰候補として理事会に推薦する。

〔表 彰〕

第6条 表彰の時期および場所は，表彰対象の所属する支部総会とし，会長名による表彰状を贈呈するとともに会誌に掲載し広く会員に周知する。

2022 年度 学生員増強功労者表彰

【受賞校】

北海道大学 工学部 機械知能工学科

贈賞理由：30名以上の学生員が入会した機械工学関連学科または機械工学関連専攻

室蘭工業大学 機械航空創造系学科 機械システム工学コース

および夜間主コース

贈賞理由：現在の入学定員の20%以上の学生員が入会した機械工学関連学科

贈賞 3.

2022 年度
若手優秀講演フェロー賞

日本機械学会若手優秀講演フェロー賞に関する規定

(目的)

第1条 この規定は、本会がフェロー寄付金に基づき、本会講演会において優れた講演を行った第2条に該当する表彰対象者に対して「若手優秀講演フェロー賞」として顕彰することによって若者に自信と誇りを与え、本会が若手の専門家を育成を支援し、もって科学技術創造立国のための人材育成に貢献することを目的とする。

(表彰対象者)

第2条 表彰対象者は、日本機械学会の支部・部門等が主催する本賞を対象とすることを明記した講演会において、発表論文の共著者で且つ登壇し発表した者で、原則として翌年度の4月1日現在において、26歳未満の会員とする。

2. 登録時に会員外であっても第5条の報告書提出時までに前項の会員資格を有した場合は表彰対象とすることができる。

3. ポスター発表形式の場合にもこれに準ずる。

4. 日本機械学会若手優秀講演フェロー賞をすでに受賞した者は、表彰の対象としない。

(選考)

第3条 選考委員会は支部・部門等で設置する。また年次大会等ではその組織として選考委員会を設置してもよい。選考委員会に所属する選考委員は、表彰対象となる講演会において表彰対象者の講演発表と講演論文に基づき以下の点から評価し受賞者を選考する。

(1) 発表内容が有益で新規性があり、日本機械学会学術誌(日本機械学会論文集, Mechanical Engineering Journal 等)に論文として投稿するに値するレベルにあること。

(2) 発表と質疑応答の態度が優れており、本人が研究を主体的に行ったと判定されること。

2. 1人の表彰対象者に対する選考評価は2人以上が行うものとする。

(選考件数)

第4条 選考件数は、支部・部門等の選考組織において、第2条1項で定める会員資格を有する表彰対象者の20人に1人の割合とする。年間を通じて表彰対象者が20人以下の場合でも表彰に値する発表があれば1名の受賞者を選出できる。またこの選考率は最大値であって、第3条の条件を満たす者が少ない場合には選考率(20分の1)を下げるものとする。

(選考から表彰まで)

第5条 受賞者の決定は第3条および第4条に則り、支部・部門等の責任において決定する。支部・部門等は受賞者決定後、受賞者氏名、会員資格、受賞講演名、発表講演会名、開催日程、および受賞講演が第3条および第4条の規定に値するとの表彰理由を明記した別紙様式の日本機械学会若手優秀講演フェロー賞報告書を支部・部門等の代表者名で会長に提出する。毎年度最終の表彰部会において、その年の全受賞者リストの確認を行い、不相当と判断されるものがある場合は、その旨支部・部門等へ通知し、次年度の選考における適正化を図る。表彰部会はその結果を理事会へ報告する。

(表彰)

第6条 表彰は日本機械学会会長名で行う。表彰は氏名、授与日を刻印した賞状とメダルからなる楯および講演題目、講演会名を含む目録様式賞状を贈呈する。楯および賞状は報告書に基づき学会事務局で製作する。楯製作には時間を要するため、講演会会期中に表彰授与を行なう場合には、目録を支部・部門等で製作して表彰し、楯は追って受賞者に送るなど、授与方法は支部・部門等に一任する。

(受賞者の公表)

第7条 受賞者の氏名、受賞題目等は、毎年本会ホームページ上に発表するものとする。

(規定改定)

第8条 本規定は施行により見直すべき点が生じた場合には、表彰部会の議を経て理事会で変更する。

付 則 本規定は標記改訂日以降より募集する講演会に適用する。

2004年2月17日理事会承認
2007年4月7日理事会一部変更
2008年3月25日理事会一部変更
2010年7月14日理事会一部変更
2011年2月9日理事会一部変更
2011年7月14日理事会一部変更
2013年1月16日理事会一部変更
2014年2月12日理事会一部変更
2015年12月8日理事会一部変更
2017年2月14日理事会一部変更

2022 年度 日本機械学会若手優秀講演フェロー賞受賞者

長岡 祥平 殿 室蘭工業大学 大学院

「衝撃伝達抑制のための構造考案」

2022 年 3 月 5 日 北海道支部 第 59 回講演会において